

保育園の役割

田丸あけみ

新生アトムがスタートして、2年目を終えようとしています。

今年も32名の子ども達がアトムを卒園します。この時期は、卒園を祝う会の練習も始まり、もうすぐ小学生になるという事で、ワクワク・ドキドキしている5歳児の子ども達の姿です。

初めて卒園を迎える保護者の方も子ども達と同じ気持ちではないでしょうか？これから子育ては続きますが、まずは、「6年間の子育てお疲れさまでした。」という気持ちでいっぱいです。

この一年も、大変な子育ての時期、周りに頼る人がいない、仕事などで近所付き合いが希薄、悩みがあるなど、様々な家庭事情を抱えた保護者を見てきました。そんな家庭を見ながら、子どもにとっても、大人にとっても、保育園は大きな役割がある事をひしひしと感じました。

少し私事になりますが、自分の幼少期を振り返ると、決して家族仲が良かったとは言えず、今思えば辛い事の方が多くあったように思います。しかし、唯一の救いは、他人の存在でした。私を可愛がってくれ、少しの悪ふざけも笑い飛ばしてくれました。その心地よさは、今も温かい感覚として私の中に残っています。そんな、他人の出番の大切さを実感しながら、成長できたことは今でも、私の宝物になっていると、自分を振り返って思います。少し余談になりましたが、現役保護者の方はもちろん、保育園を卒園する保護者にとっても、何かあった時は、いつでも駆け込み寺として、保育園を利用してほしいです。“他人の出番”として存在していく役割と、子育ての休憩場所となるアトムでありたいと思っています。

最後に、今年度を振り返って、やはり一番に思い浮かぶことは、子ども達に大きな怪我や事故がなく、一年を終えようとしている事が何より嬉しい事です。

元気が一番！！本当に今年もそう思いながら年度末を迎えています。

職員も保護者に支えられた一年でした。保護者の存在は、職員をさらに成長させてくれます。いろんな価値観の人と話をすることは、職員にとっても貴重な体験です。

来年度もまた、アトムで様々なドラマがあると思いますが、人を思いやる気持ちや、相手の立場になって考えるという事を大事にしながら、また新たなスタートを切りたいと思います。一年間ありがとうございました。

サンキューの日について。

日頃、家族やお世話になっている人たちに、感謝の気持ちを伝える機会が少ない子ども達。そこで、「お世話になっている人に感謝の気持ちをつたえよう！」という目的で、3月9日を“サンキューの日”としました。